

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 3月 31日

事業所名 放課後等デイサービス という

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習室と指導訓練室を区分して運営している。法令に遵守している。	活動のための道具の配置や置き場所に配慮する。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		正規職員の確保とパート職員の確保を常に考えて対応している。	職員の入退職はありますが配置基準を守り、余剰人員を確保していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		段差をなくすなどの配慮をして危険防止をしている。	日本家屋、借家であり建物を直すことができないが、個に合わせ事故防止に努めていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		定期的または必要に応じ、会議を開催し、全員が参加している。	職員の共通理解を図るため全員参画を心がけていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年1回の自己評価の活用や必要に応じて保護者アンケート調査を実施、または個別対応によって保護者の意向を把握している。	計画案などにも保護者に参画してもらうようにしていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○		保護者や職員全員が評価を実施するようにしている。	自己評価の結果は、年1回必ずホームページにおいて公表していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	今年度は第三者委員の評価を実施しなかったが、保護者には全員に依頼し、業務改善に生かしている。年2回は第三者委員と面会している。	保護者には継続して評価依頼をする。第三者委員にも評価の実施をしてもらい、業務改善につなげていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		職場内研修を定期的実施している。外部研修にも積極	定期的、計画的に実施していく。

				的に参加できる体制がある。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	保護者と連携を密にし、必要に応じて話し合い、課題の検討をしている。職員全員が会議に参加し、より良い支援計画になるようにしている。	現状に合わせて見直しをし、保護者や利用者のニーズに応じていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	標準化されたアセスメントツールを使用している。保護者から任意提出された情報や医療機関での発達検査も参考にしている。	標準化されたアセスメントツールを活用し適応行動の状況を図っていく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	チームリーダーを中心に会議において立案している。	指導員を中心に検討し、総意により決定をしていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	児童の成長や日々の状態に合わせてられる柔軟性をもち、活動は連動性を持つように工夫している。	日々の現れを見落とさないように観察と記録を大切にしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	職員全員が支援計画を理解し、日々の支援に活かしている。課題は個別に又は集団において達成できるように計画を立てている。	今後も支援内容を話し合い、整合性のある支援をしていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	学校のある日は主に個別活動を中心とし、休日は個別活動と集団活動を組み合わせている。日々の活動内容による。	個別・集団活動を計画的に実施するように支援計画に組み込んでいく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	朝の確認、夕の反省と目標確認を実施し、役割分担を明確にしている。	より良いサービスの提供及び見落としや事故につながらない為にも引き続き実施していく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	活動の振り返りを必ず行い、情報を共有し、次回利用に活かすようにしている。職員全員に伝達できるように申し送りノートを活用している。	気づき等は個別記録や業務日誌、職員連絡帳に記載し、全職員が見られるようにもれなく記入することを継続する。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげて	○	複数人の観察を通して気づきを正確に、個別の記録に落ち	職員間の報告・連絡・相談を重視していく。	

	いるか			のないように記載している。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		6ヶ月毎のモニタリングを行い支援計画の見直しをしている。必要に応じて短期見直しもしている。	記録の徹底はもとより、申し送りも大切にしている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		個に合わせて支援を行っている。	組み合わせの工夫をしている。
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		事業所では児童発達支援管理責任者、子どもの保護者と担任、相談支援事業所が参画している。	継続して実施していく。連携を密に図っていく。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校の担任の協力、保護者の協力を得て情報を共有できている。万が一の場合は、電話で確認が取れるようになっている。	今後も学校や保護者との連携を図っていく。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			該当なし	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		相談支援事業所からの情報が中心であり、保育所や幼稚園、認定こども園とは深く関わっていない。	もっと関係の強化を図るように努力していく。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		就業先について学校側の情報が無い為、積極的に関わってはいない。	支援内容等の提供は利用者にとって大切なことであるから提供をしていく
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		研修案内を活用し、積極的に研修に参加している。専門機関には積極的に関り、助言や指導を受けている。(例) 児童相談所等	専門機関とは引き続き連携をし、助言や研修を受けていく。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		地域の活動に参加していたが、コロナウイルス感染症予防の為外出を控えたため交流ができなかった。	意図的、意識的に関りをもつようにしていく。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○		現在参加していないが、機会があれば参加したい。	協議会の情報を得る努力をする。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		日々は、送迎時に活動の様子を直接伝え、また連絡帳も活用している。必要に応じて個別担当者会議を開催して共通理解を持つようになっている。	今後もきめ細やかな提供を心がけていく。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		研修のお知らせや参加の呼びかけ、事業所においては、児童の未発達部分のかかわり方等の助言を行っている。	研修等の情報を伝え研修参加の機会を提供していく。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約を行う際に書面において丁寧に説明している。支援内容については支援計画書において詳しく説明している。	保護者のニーズに合わせて、その都度対応していく。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子育ての難しさで行き詰まり保護者の精神状態の不安定時や、その他不安や困りごと等、随時相談に乗り、助言をしている。	保護者の訴えを真摯に受け止め、誠意を持って対応をしていく。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年1回保護者全員参加を目標に保護者会を実施。2019年度に続き今年度もアンケート形式で実施。集計結果を書面で報告を全員にした。(コロナウイルスの感染予防のため一堂に会することはできなかった。)	全員参加を目標に保護者の意向を伺いながら今後も保護者同士の連携を図っていききたい。保護者会が開催できるように工夫をしていく。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		現在苦情はない。事業所には苦情受付・担当者がある。また、第三者委員会の設置もしている。	苦情の際には迅速かつ適切に対応していく。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報はないが、必要に応じたお知らせ、ラインの活用、行事予定表や連絡帳を通して発信している。	ホームページの活用等も考えていきたい。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○		外部に持ち出さない。書類は鍵のついた管理庫に保管する。職員には守秘義務を徹底	職員教育を継続的に行っていく。
	㉘					

				するように研修などを通して意識化している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	お便りや口頭において情報を伝達するようにしている。活動時には、可視化を大切にしている。	障害の状態に合わせた配慮を心がける。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	地域防災訓練や文化祭への参加や地域奉仕活動を行っていたが新型コロナウイルスによりできなかった。	近隣住民の理解が得られるように積極的に関わっていく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	マニュアルに沿って職員研修を実施している。保護者には事業所と共通した資料を配布し、また事業所玄関に掲示と冊子を置いてある。	必要に応じて見直しをしていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	マニュアルの研修や訓練は定期的に行うなど実際を想定して実施している。(雨天候時でも実施している。)	訓練を実施し、突発的な場面でも冷静に対応できるようにしていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	外部研修に参加し、正しい知識を習得し、事業所内で伝達講習を行い周知するように努めている。人権についても併せて研修をしている。	マニュアルを定期的に見直し、職員研修を継続的に実施していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	身体拘束をしなければならぬ利用者はいないが、心を傷つけるような言動に特に注意している。スピーチロックには気を付けている。	研修等を通して意識統一を図り、支援に活かしていく。対象者には支援計画に記載し、保護者の同意を得ていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	食物アレルギーのみならずアレルギーの有無を保護者から情報をもらい服薬状況も把握している。	今後も面談時に情報を得ていく。保護者にはアレルギー表で説明していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	事故につなげない為に、ヒヤリハットを重視し検証している。	検証の実施を継続していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 3 年 3 月 31 日

事業所名 放課後等デイサービス という

保護者等数 10（児童数 10）

回収数 10 割合 100 %

		チェック項目	はい	子ども いない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	2				職員の入退職はありますが配置基準を守り、余剰人員を確保しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2				日本家屋であることと借家であることもあり、改造・改築は不可能ですが、できる限りの安全に配慮しています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10					
	⑤	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	10					
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	4			今年度はコロナウイルス感染予防の為外部との接触を必要最小限に留めていますが、状況が改善されてきたら児童館などの活用を開始していきます。
保護者への説明	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題	10					

	について共通理解ができているか					
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10				
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	5	3		本来ならば一堂に会して実施すべきですが、昨年度同様コロナウイルス感染予防の為、止む無く今年度もアンケート形式で実施しました。ご意見や検討課題などについて記入していただき、その集計を保護者様に結果報告をしました。保護者間相互の親睦を深めるためにも来年度に向けて保護者会開催に向けて検討していきたいと考えています。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2			苦情の申し立てがあれば即対応をします。悩みや相談事も気軽にさせていただけるように配慮します。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	10				
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10				
	⑭ 個人情報に十分注意しているか	10				
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	10				
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10				

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	9	1				学習及び集団活動は無理強いしません。しかし、療育的な活動（訓練）は支援計画に基づいて提供しますので無理のない範囲で提供します。自己決定を大切にしていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	9	1				不満足な点や要望、希望などを伺い、保護者様の声を真摯に受け止め、満足していただける支援を目指します。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。